

施策評価シート (評価対象年度：平成30年度)

1. 基本的事項

① 施策名〔施策小〕	1 市営住宅の建て替え	② 施策番号	5302
③ まちづくりの方向〔政策(章)〕	5 快適で活気にあふれ、環境にやさしいまち		
④ 基本施策〔施策大(節)〕	2 活気にあふれるとともに快適で美しく、市内・市外がネットワークで緊密に結ばれ、だれもが使いやすいまちをめざします		
⑤ 基本的方向〔施策中〕	5 市営住宅の整備		
⑥ 担当部名	⑦ 担当課名		
都市整備部	住宅公園課		

2. 施策の現状把握

[1] 施策の対象・意図

① 施策の対象(誰、何に対して施策を実施するのか)	市営住宅及び住宅に困窮する低額所得者
② 意図(対象をどのような状態にしたいのか。何を狙っているのか)	市営住宅におけるバリアフリー化、耐震化された住宅の提供による安全性の向上。エレベーター、浴室設定等による居住環境の向上。
③ 環境(この施策を取り巻く状況はどのような状態なのか、また、国や府の動きはどのような状態で、今後どのように変化していくと考えられるか)	保有ストックの老朽化問題及びFM実施計画との整合。 今後は、PFIをはじめ民間活力の導入や民間住宅を含む住宅市場を活用した住宅施策の展開。

[2] 施策指標及び推移

施策指標(成果指標)	単位	指標とした理由・考え方
① 入居戸数 計算式	戸	老朽化した住棟を除却し、計画的な建替え改修を行う。
② 実施設計及び用地測量 計算式	千円	老朽化した住棟を除却し、計画的な建替え改修を行う。
③ 工事請負費 計算式	千円	老朽化した住棟を除却し、計画的な建替え改修を行う。

指標名	単位	H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2目標	備考
① 入居戸数	戸	目標値	20	20	32	32	
		実績値	20	20	32	—	
		達成率	100.0%	100.0%	100.0%		
② 実施設計及び用地測量	千円	目標値	—	—	2,793	—	
		実績値	—	—	2,793	—	
		達成率			100.0%		
③ 工事請負費	千円	目標値	—	—	—	1,530	
		実績値	—	—	—	—	
		達成率					

[3] 施策を構成する事務事業

	事務事業名	成果指標				総事業費(千円)			事務事業評価結果		重点化	
		指標名	単位	H29実績	H30実績	R1見込	H29実績	H30実績	R1見込	総合評価		今後の方向性
1	市営住宅建替事業	入居戸数	戸	20	32	32	22,284	8,013	5,220	A	イ a	
2	市営住宅計画事業	修繕、改善 済率	%	0	0	0	5,220	4,818	4,818	A	ア	◎
3												
4												
5												
6												
7												
8												
計	2						27,504	12,831	10,038			

3. 施策の評価

評価の視点	説明・コメント等
①本施策の意図すること(目的)は、上位施策(施策中)の達成にどのように貢献しますか。 (施策所管課等としての考えをお示ください。)	困窮状態にある世帯の安定を図るために必要である。
②本施策で設定した指標から何が読み取れますか。 (2[2]の表の数値の推移から分析できることをお示ください。)	予算の効率的な執行。
③本施策において市民、団体等との役割分担や市の関与は適切ですか。 (施策所管課等としての考え(理想と現実)をお示ください。)	市営住宅は、市が供給し運営する施設であるため、市が主体的に関与する必要がある。
④施策を構成する事務事業は適正ですか。 (2[3]を踏まえ、施策目標に対し事務事業にずれはないか、数は適正かについて考えをお示ください。)	必要と考えられる事務事業で構成されている。
⑤施策を構成する事務事業の中で重点化及び縮小化についてどのように考えますか。 (2[3]において、◎、○、▲とした理由をお示ください。)	築50年程度経過している住宅が大半である中、耐震性に問題のある住戸も多数あり、早急に建て替え等の必要がある。

4. 一次評価(所管課評価)

一次評価	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある
	B	施設の老朽化により、これまで以上に居住環境の維持や入居者の安全確保が課題となる。	

5. 改革、改善案

即時的対応 (すぐに取り組む改善案)	泉南市FM実施計画を踏まえた今後の市営住宅のあり方の検討。
短期的対応 (1、2年のうちに取り組む改善案)	耐震性能が現在不足しており、泉南市営住宅長寿命化計画において耐震改修と位置付けている、前畑1号棟、宮本1号棟の早期事業化。
中長期的対応 (3~5年をめぐりに取り組む改善案)	PFI等民間活力を生かした住宅施策。

6. 二次評価(行革・財産活用室評価)

二次評価	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある
	B	今後の老朽化対応については、状況の把握と長期的視野に立ち、民間活力の導入など多様な視点から検討、展開を進められたい。	